

**三菱電機** **ビル用** エアコン 圧力計  
**PAC-KK65PG**  
**取付説明書（販売店・工事店様用）**

●取扱いの前には、安全を確保するため必ずこの「取付説明書」をよくお読みください。安全のために必ず守っていただく項目を ⚠ 警告 ⚠ 注意 の形で記載しました。

**安全のために必ず守ること**

- 取付工事はこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に守ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して表示しています。


**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。


**注意**

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。


**警告**

取付けは、販売店または専門業者に依頼してください。

- ご自分で取付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

取付工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。

- 取付けに不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

パネルを確実に取付けてください。

- パネルの取付けに不備があると、ほこり・水などにより、火災・感電の原因になります。

改修は絶対にしないでください。また、修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。

- 冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。

- 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。


**注意**

パネルやガードを外したまま運転しないでください。

- 機器の回転物、高温部、高電圧に触れると巻き込まれたり、火傷や感電によりケガの原因になります。

※一般的な室外ユニット据付けに関する内容は、室外ユニット本体に添付の据付説明書に従ってください。

**1. 部品**

この箱には、説明書の他に下記部品が入っていますので御確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	圧力計※	1	高低圧一体型	⑦	パイプカバー	1	
②	ネジ	6	5×12	⑧	結束バンド	3	
③	配管	1	高圧側 φ2 (赤マーク付)	⑨	のぞき窓	1	
④	配管	1	低圧側 φ4	⑩	取付ゴム	1	
⑤	取付板(小)	1		⑪	配線結束バンド	1	
⑥	取付板(大)	1					

※圧力計の測定範囲：高圧側 0~6MPa 低圧側 0~4MPa

## 2. 取付要領

- (1) ユニットの運転を停止した後、前パネル（下）を取外してください。（図1）
- (2) 圧力計をユニットに固定する前に品③④配管の注意ラベル側を品①圧力計にフレア接続してください。（締付トルク $16 \pm 2 \text{ N} \cdot \text{m}$ ）
- (3) 配管③④の圧力計反対側を高・低圧側のチェックジョイントにフレア接続してください。この時、ネジ部への浸水防止を目的にチェックジョイントのネジ部にシール材（スリーボンド1110D）を塗布してください。（締付トルク $20 \pm 2 \text{ N} \cdot \text{m}$ ）（図2,3,4）
- (4) ユニットのハシラ左側の配線結束バンドを取外して品①圧力計を品②ネジ（2個）にて固定してください。
- (5) 品①圧力計上部とユニットマエイタに品⑤または⑥取付板のいずれか（マエイタ側のネジ取付穴ピッチと合う方を使用）を品②ネジ（4個）にて固定してください。品⑤または⑥取付板はユニット制御箱への浸水防止のため、必ず取付けてください。取付板右横に⑩配線結束バンドを取付けてください。（図2）

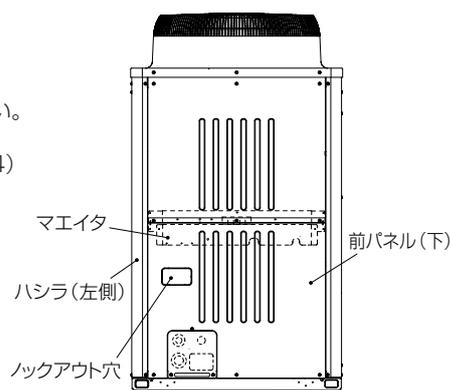


図1

△ 高・低圧側チェックジョイントがマエイタへ固定されている機種の場合（図3）

- (6) 高圧・低圧キャピラリーの余剰部を圧力計側とし（a）（b）部を品⑧結束バンドで固定してください。（計3カ所）（図3）

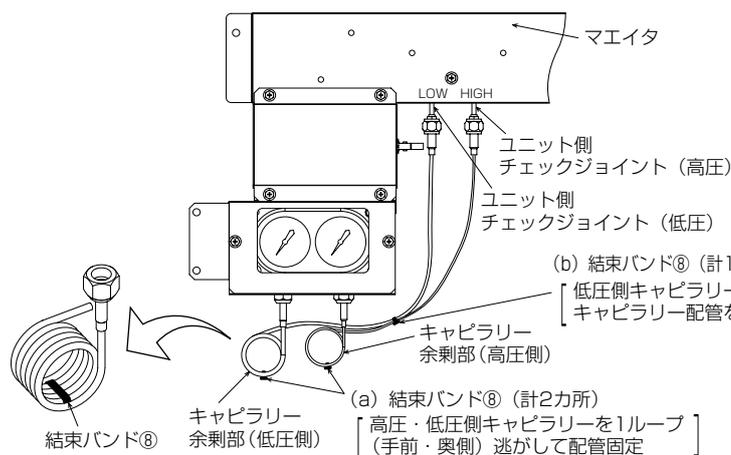


図3

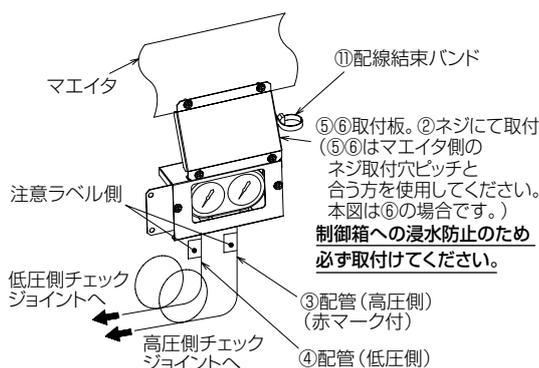


図2

□ 高・低圧側チェックジョイントが△以外の機種の場合

- (6) 高圧側はチェックジョイント部に品⑦パイプカバーを巻き付けて品③配管のキャピラリー余剰部は1ループ逃がして品⑧結束バンドで固定してください。チェックジョイントの向きはユニットによって異なります。（図4）  
低圧側のキャピラリー余剰部は圧力計側としてください。また、圧力計側で、高圧側キャピラリーと低圧側キャピラリー余剰部を品⑧結束バンドにて図を参考に固定してください。（図5）

チェックジョイントが下向きの場合

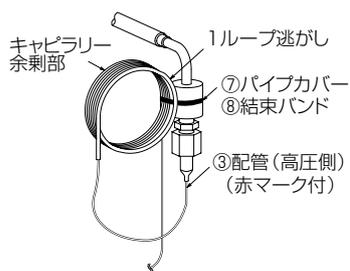


図4

チェックジョイントが横向きの場合

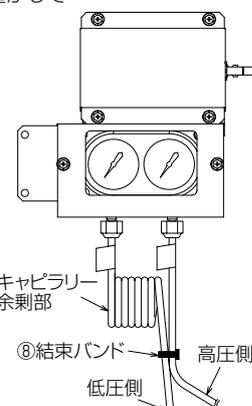
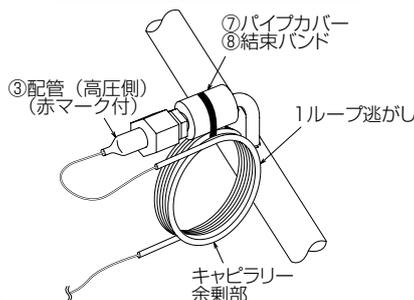


図5

- (7) エアパージを行うには圧力計側のフレアナットを少し緩め、その接続部よりシュートというエア抜き音を確認したら直ちに本締めしてください。ガス漏れのないことを確認してください。
- (8) 前パネル（下）上部のノックアウト穴を打ち抜いて、品⑨のぞき窓、品⑩取付ゴムを取付けてください。（図6）
- (9) 前パネル（下）を取付けてください。

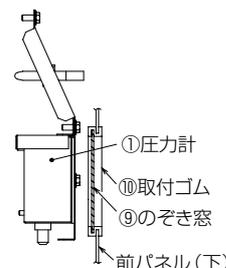


図6

## ⚠ 注意

- (1) 圧力計の配管が板金のエッジや他の配管に接触しないように注意してください。また、操作弁等の操作の邪魔にならないようにしてください。
- (2) 作業を行う場合には、手袋等の防具を着用し板金のエッジには十分注意してください。
- (3) 上記（5）項の品⑤または⑥取付板は、必ず取付けてください。制御箱への浸水防止の機能があり、取付不備があると機器損傷の原因となります。
- (4) 上記（6）の作業は確実に行ってください。不備があると配管折損によりガス漏れの原因となります。